

令和6年度 自己評価

認定こども園 勝山愛和第四幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、仏教の「報恩感謝」の心を建学の精神とし、教育保育要領に基づき、知、体、徳の三位一体の教育を通して、豊かな心とたくましい体を育み、小学校以降の学習、生活の基礎、基盤を培い、「いつも明るく、ありがとうの言える子」「背すじをのばして姿勢のよい子」「よく考えて、がまん強い子」の育成を目標にしている。

2、本年度、重点的に取り組む目標、計画

教育保育要領を踏まえて、本園の教育保育課程の内容を検証・確認し、教職員の共通理解をはかり、本園ならではの教育保育に取り組む。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画の作成に関して、教職員間の共通理解を図る。	教育保育要領、本園の教育保育課程の理解を推進し、それを保育に添わすように努めている。
園の状況を踏まえて、中長期のビジョンと計画を策定する。	本園に求められている社会的ニーズを検証し、その背景を踏まえて、中長期の具体策を検討している。
教育水準の向上のため、研修の充実を図る。	園内研修を定期的の実施し、子供の姿について話し合い、指導方法の工夫や指導内容を緻密化し、教育保育力の向上に努めている。加えて、適切な外部の研修会の参加機会を促進し、教職員全体の資質向上に努めている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員の自己評価を検証し、具体的な目標や計画の策定に資するよう努めている。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	学びあいの環境づくりに配慮し、適切、有効な指導助言により、意欲と責任感をひき出し、保育者としての生きがい、充実感を感じる職場環境を構築し、研修意欲の向上に努める。
情報公開の方法	園だより「はぐくみ」（毎月発行）や「学園だより」（年8回発行）により教育保育活動情報の公開に取り組んでいるが、公開内容や方法を検討する。
指導計画の編成	日々子供の実態を仔細に検証し、指導計画を修正し、実態に即した指導計画の作成に努める。
保育環境等の改善	施設、設備、教具、教材の点検をはじめ、保育活動の総合的検証と計画的な改善に努める。

6、財務状況

学園監事監査、公認会計士監査、行政監査において、適正に運営されているとの評価を受けている。

7、苦情解決

苦情の申し出はありませんでした。